

1 木質バイオマス利用の意義

木質バイオマスの利活用は持続可能な社会の実現、地球温暖化の防止に資することから、重要な課題となっています。

また、木質バイオマスの利用は、地域における雇用の創出や、林業・木材産業の活性化にもなり、森林整備の促進につながっていきます。

植物に由来する木質バイオマスは、再生可能な資源であり、エネルギーとしても利用できるものです。もともと私たちは、昭和30年頃まで、木炭や薪といった木質バイオマスを暖房や調理などで利用していましたが、その後の高度経済成長やエネルギー革命により、扱いやすい石油やガスといった化石燃料を使うようになりました。しかし、最近は、地球温暖化問題や廃棄物問題、循環型社会の構築といった点から、木質バイオマスエネルギーが再び注目されてきています。

本県は、豊富な森林資源を有していますが、急峻な地形や零細な森林所有規模などの要因により、現状の素材生産は活発な状況であるとは言えません。

また、森林から伐採された木材を柱や板に加工する製材業等についても、県内に大規模な製材工場がなく、全体としての加工量も全国的には低位な状況にあります。

これらのことから、木質バイオマスにおいても森林内には豊富に賦存していますが、実際に利用可能な資源として、木材の伐採現場や製材加工の過程において発生する量は、現状では限られたものになっています。

今後、本県の現状に即した木質バイオマスの利用を進めることは、林業の採算性の向上により、林業・木材産業の活性化につながるばかりでなく、CO₂ 排出量を削減し、持続可能な社会を築いていく上で重要な意義をもっています。

